



おながわ
花と緑の活動
ガイドブック



女川町

もくじ



はじめに	1
ひとりで始められること ～お庭もまちの風景の一部～	2
みんなでできること ～みんなのガーデン～	6
お役立ち情報	16

- 活動持続のヒント
- 中心部の緑地マップ
- まちの先生・協力団体
- 助成制度の紹介



はじめに



“海と共に生きる、自慢したいまち女川”をめざして

女川町は、豊かな自然の中で育んできた歴史・風土を大切にしながら、住みたいまち、訪れたいまちとして選ばれるよう、景観に優れたまちづくりに取り組んでいます。

復興していく女川で、居心地の良い暮らしを実現し、後世に残していくためには、町民や事業者のみなさんと行政が協働し、一人ひとりがまちなみについて考え、行動し、守り、育てていくことが求められています。



花と緑の活動ガイドブックについて

このガイドブックは、ご自宅の庭や近くの公園を花や緑で彩って気持ちの良い場所にしたいという住民みなさんの声に応え、その活動を通じてまちと関わり、人とつながる手引きとなるようまとめています。

本誌で紹介している事例は、ほとんどが実際に町内で取り組まれている個人や団体の活動内容です。これらのアイデアを参考に、みなさんの創意工夫を加えることで、花と緑の活動が育まれ、まちを楽しく使いこなすきっかけになるでしょう。

まちを花と緑で彩り、より魅力的な女川に成長させていきましょう。



ひとりで始められること ～お庭もまちの風景の一部～



まちなみづくりの“はじめの一步”

まずは自分で庭を楽しむことが大切ですが、まちなみづくりの第一歩は、ご自宅のお庭などを道行く人に楽しんでもらえるように飾ってみる事です。以下のポイントを参考にしてみてください。

自宅から始まるまちなみづくりの例

① ツル性植物を使ったおうち周りの緑化

壁を這って縦横に広がっていくツル性植物等をご自宅の周りに植えて通り沿いを緑化すると、道路から見ても気持ちの良い空間になります。



クレマチス

ツル性の植物
クレマチス、アイビー、
つるバラなど



ツル性植物を活用したフェンス



② シンボルツリーの植樹

緑豊かなまちなみづくりにとって1本の木の効果は絶大です。ご自宅のできるだけ通り沿いに、シンボルとなる大きな木を最低1本植えるようにしましょう。

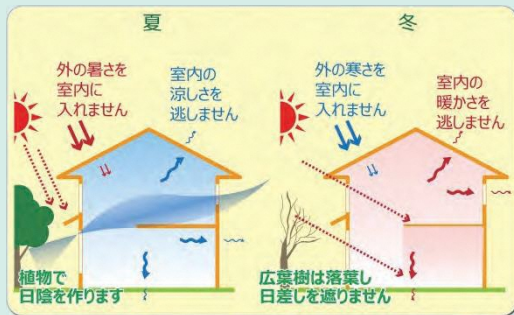


お住まいそれぞれの地域で美しいまち女川を創っていく独自のまちづくりのルール『まちなみデザイン誘導ガイドライン』もご参照ください。(女川町 HP で検索)



③ 自然環境を活かした快適な空間づくり

お庭の南側の窓辺に落葉
広葉樹（10 ページで紹介）
を植栽するだけで、夏の強い
日差しを防ぎ、落葉する冬に
は日差しを遮らず室内に取り
込み、快適でエネルギーコ
スの少ない室内環境が得ら
れます。



④ 道路と一体感のある開放的な空間づくり

敷地周辺の特に道路沿いの緑化は、道行く人の目を楽し
ませてくれます。背の高い垣根や柵はできるだけ控え
て花や緑を植え、道路と一体感のある開放的な空間づくり
に取り組みましょう。



⑤ 災害公営住宅での共同花壇の利用

町で整備した集合住宅には、共同花壇用の区
画が設けられており、花の栽培や畑づくりなど
に利用している地区もあります。歩行者にも楽
しめる空間になりますし、畑仕事を通して、地
区の方々との交流も広がるでしょう。



インタビュー①

女川のまちづくりのポイント!!

女川の復興まちづくり計画を考える際に最も大切にされたことは、**まちのあちこちから女川のシンボルである海が臨めて、住民のみなさんが誇りに思え、町外の人を訪れたい美しいまちづくり**でした。それを実現するために、女川が元々持っていた地形をできるだけ活かすよう努めるとともに、新しく整備された高台には海を臨む眺望軸を配すようにしています。

新しく生まれ変わったまちの再建は、整備された道路や公園、宅地などの基盤施設の上に女川町が建設する公共施設や、みなさんの自立再建住宅等の建設によって進められます。庭や公園の緑化については、なくてはならないものではないだけに、どうしても後回しにされがちですが、**美しいと言われるまちは、元々あった地形が上手に生かされ、緑が豊かに育っています**。女川が緑豊かなまちになるまでには時間が必要ですが、慌てる必要はありません。**日々の暮らしを通じて少しずつ、みんなで楽しみながらお庭づくりや公園づくりに取り組んでいただけたらと願っています**。

宇野 健一

(有)アトリエU 都市・地域
空間計画室 代表取締役

東京都多摩市を始め、まちづくりアドバイザーとしてさまざまなまちづくりに携わる。常に居住者の目線から「まちづくり」ととらえ、「町医者のような都市プランナー」をめざしている。



ちょっとがんばればできること①

鉢植えから始めませんか？

ガーデニングは大変そうだな…と思う方もいるかもしれません。まずは気に入った植物をプランターで育ててみませんか？

集合住宅で花壇がなくとも、風当たりが強くて、ベランダや室内で育てられる観葉植物などがたくさんありますよ。



玄関先やベランダなど、人目のつく場所に置くと、自分達だけではなく周りの人達にも喜んで見てもらえますよ♪

まちなかのお庭紹介！



花や野菜の相談所がお近くに♪

内山地区に手作りの美しいお庭があります。お家ができた当初、固い地盤を自力で土を掘って入れ替え土づくりから時間がかかって手作りで進めてきたそうです。



地植えとプランター
植えを組み合わせた花壇、
野菜畑があります♪



奥様から一言

『庭がご近所とのコミュニケーションの場になれば良いなと思いながら作ってきて、今その通りになっています。花や野菜に関する情報交換を楽しんでいます。』



個人のお庭を開放してみる!?

庭づくりの次のステップとして、お庭を一般の人に公開して楽しんでもらう“オープンガーデン”という考え方があります。

長野県小布施町では 1980 年代から始まった「花のまちづくり」の一環として、2000 年からオープンガーデンの取り組みが始まりました。

お庭に訪れた**お客さんを花や緑でもてなし、会話を通した交流**を住民と行政が一体となって進めています。



おぶせオープンガーデン

- 好意と善意にもとづく「ボランティア」によるもの
- 町に伝わる「縁側文化*」で育まれた小布施ならではのしくみ。『**自然体で庭に来訪者を受け入れる**』ことが、続けるコツ

*「家の外はみんなのもの」、「家の庭は誰もが通り抜けられる」という文化



この看板が参加しているお庭の目印です♪



小布施町のオープンガーデンを視察研修した参加者の感想を紹介します。

庭を公開した人に報酬があるわけでも、小布施町が見学料金を収入を得るわけでもないけれど、まちのイメージアップや何度もまちに訪れる仕掛けになっていて、結果的には、まちの収入アップに繋がっていると思いました。

個人の庭では、見に来る人がいると庭を綺麗に保とうと思う意志に繋がっていて、上手い仕組みだと思いました。

見返りを求めず庭を見に来た人に自分ができる範囲でもてなしたり、自分の家に来てくれることを楽しんでいる、小布施の人の優しい気持ちを感じた話をたくさん聞くことができました。

『おもてなし』の気持ちは見習わないといけないと感じました。

個人宅の庭先にオーガーデンのプレートがあり、お庭が拝見できる楽しみがありました。住む人たちが構えた感じもなく快く対応してくれ、住民個々の花への取組みがしっかり根付いているのが見てとれました。

自然文化と景観の調和を大切にして、公民一体の花のまちづくりの取組みに感心しました。



みんなでできること ～みんなのガーデン～



まちなみづくりの“はじめの一步”

住民みなさんで共有する町内の公園、緑地、広場では、地域のみなさんで考え、花壇などをつくり、育て楽しむ場所にすることができます。一般的には、コミュニティガーデンと呼ばれています。



みんなのガーデンの効果

緑が少なかったり、草ぼうぼうの場所でも、地域の皆さんで手を入れて花や緑を増やすと・・・

- ◇近所の人や町外から来た人も、訪れたいくなる魅力的な場所になります。
- ◇心も体もリフレッシュする場所ができます。
- ◇お隣の顔が分からなかった人も仲間をつくることができます。



みんなのガーデンのつくり方

ガーデンは以下のステップでつくっていくことができます。7～14ページで、詳しく紹介します。

「みんなのガーデン」4つのステップ

- ① 仲間を集める
- ② みんなでどのような場にしたいか考える
- ③ みんなでつくる
- ④ みんなでつくった場を楽しむ

役場担当者より

町では、地区の公園の維持管理を行政区にお任せしています。花壇をつくったり、桜を植えたり、地区独自の取組みも盛んになっています。みなさんで意見を出し合って公園を活用してくださいね！

困った時や大きな設置物を公園に置きたい場合は、**町役場管財営繕課営繕係** までご相談ください。

ここでは上三区（荒立東地区）の実例を元に紹介します。

ステップ1 仲間を集める



みんなのガーデンを作りたい！と思った時に、一緒にガーデンで楽しむ仲間がほしいですね。

- ①まずは興味のありそうなお友達に声をかけてみましょう。
- ②仲間集めに困ったら、活動の先輩「あ〜らだてのしみちの会」や女川町社会福祉協議会のボランティアセンターに相談してみましょう。（22 ページで紹介）
- ③区長さんに相談してみましょう。
地区公認のサークル活動になると広報活動が進めやすくなります。
- ④地区内でチラシを回覧して広く参加を呼びかけましょう。
集まった仲間同士の連絡には、LINE グループなどが便利です。



インタビュー②

「ガーテニングの輪が日々の暮らしの楽しみへ」

Q: 活動内容について

A: 新しい住宅地で地域の人達とお付き合いを始めるにあたり、自宅近くの小さな公園に地域共同のガーデンをつくる取組みを通じて、仲間の輪を拡げています。

Q: 活動を続ける秘訣は？

A: 仲間と一緒に収穫したハーブを使いお茶会をしたり、手作り品を出店するなど、活動の中に日々の暮らしの楽しみを見つけ、それが元気の源になっています。

Q: 町への期待、メッセージ

A: 各地区の公園でも活動が広まることを期待しています。何かお手伝いできればと考えているので、ぜひお声がけください。
(22 ページで連絡先紹介)



あ〜らだてのしみちの会
木村繁子さん



周りの方に呼びかけるチラシの内容を決めていくことで、集まりの趣旨や枠組みを明確にすることができますよ。イベントなどを行う前に、以下のようなポイントを整理しておくといいでしょう。

コミュニティガーデン実践講座 縁のまち活

第4回ガーデンを楽しもう! ②

愛称 あ〜らだての小みち 公園

グループの名前(愛称)

これまでの実践講座で、みんなで考えみんなでつくった荒立東街区公園の愛称が【あ〜らだての小みち】にきました。

花壇に植えた植物は、2か月たった今も夏の暑さに耐えすくすくと育っています。公園を散歩する方々に喜んでもらえたら嬉しいです♪

さて、今回は有志を集い花壇のお手入れと公園内に散歩が楽しくなる小みち造りを企画しておりますので皆さん是非ご参加ください。

(※とりたてのハーブを使ったお楽しみもありますよ!)

趣旨

日時: 年 月 日 (日)
午後1:30~3:30

活動場所と日程

場所: 【あ〜らだての小みち】
(荒立東街区公園)



花壇のお手入れと、公園内の小みち造りお楽しみ休憩も考えています♪

*みなさんのアイデアがあれば、持ち寄って一緒に楽しみましょう!
【当日は汚れても良い服装でご参加下さい】

対象者



参加費

【窓口】



TEL: [Redacted]

Mail: [Redacted]

☆あ〜らだての小みち ☎ [Redacted]

連絡先



活動場所の様子(写真など)

ステップ2 みんなでどのような場にしたいか考える

1 テーマを出し合う



関わるみなさんで集まり、どのような場にしたいか意見を出し合いましょう。

- (例)「四季折々、花いっぱいになりたい」
 「ハーブを植えたい。鹿避けにもなる」
 「散歩して楽しい公園にしたい」など

2 アイデアとデザインを考える



植えたい植物のアイデアとデザインを考えましょう。

スケッチなどすると想像しやすいです。

- (例)「日陰になる樹木（モミジなど）や桜」
 「ハーブや多年草」
 「法面を利用して芝桜」
 「敷石で小道をつくりたい」など

その場を利用する人
みんなの思いを共有しよう！



植物集めや準備する物を考える

出てきた植物アイデアを、実際に持ち寄ることができるのか、購入するのかなど、花壇をつくる前にみんなで相談しましょう。また、植物だけではなく植える用土や花壇づくりに使う道具、花壇囲いの材料などもお忘れなく！

植物選びのコツ

◆ 丈夫で手間いらずの植物

暑さ・寒さ・乾燥に強い、花ガラが気にならない、
適応力がある、暴れない など

◆ 環境や目的に合う植物

日陰か日向か、乾燥や風通しは？

しかも
可愛い、きれい！



女川での植物選び、豆知識！

樹木について

1年の最低気温により、「クライメートゾーン」が分類されており、このゾーンによって植栽できる樹木の目安があります。『寒さに耐えられるかどうか』が樹木を選ぶ上で第一に重要です。

女川町は、「8b」ゾーンです。(出典：樹木アートブック)

11		10		9		8		7		6		5		4	
b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a
+1.2	+4.4	+1.7	-1.1	-3.9	-6.7	-9.4	-9.4	+1.2	-10.1	-1.8	-10.6	-23.3	-23.9	-34.1	-34.1
+7.2	+4.4	+1.7	-1.1	-3.9	-6.7	-9.4	-9.4	+1.2	-10.1	-1.8	-10.6	-23.3	-23.9	-34.1	-34.1

ゾーンナンバーと年最低気温(平均)



《寒風・潮風に耐える樹木》

●針葉樹 : コニファー類

●常緑広葉樹 : (オリーブ)・カクレミノ・シラカシ・(ゲッケイジュ)・ホソバタイサンボク・(ユズリハ)・ヤブツバキ・サザンカ・レッドロビン

●落葉広葉樹 : ヤマツツジ・コナラ・クリ・タブノキ

アカシデ・ウメ・ハナカイドウ・イロハモミジ・カエデ類・カキノキ・カツラ・カリン・ケヤキ・コブシ・シデコブシ・サクラ類・サルスベリ・(コニファー類) ザクロ・シラカバ・ナナカマド・ネムノキ・ハクモクレン・シモクレン・ライラック・ベニバナスモモ・ハナモモ・ヤマボウシ・ハナミズキ・マユミ・ムクゲ・ヒメシャラ・ナツツバキ・エゴノキ



ニオイシバ (コニファー類)



ヤマツツジ



ハナカイドウ



クリ

(写真出典：ランドスケーププランツ 北海道樹木図鑑)

《オリーブが女川でも育つ?!》

オリーブは、地中海沿岸などで広く栽培されるモクセイ科の常緑高木で、オリーブオイルや実の塩漬けなどが人気です。日本では、香川県小豆島などが産地として知られ、暖かい関東以西で主に栽培されていますが、最近「北限産地に」と石巻市でも栽培が始まっており、女川で育てている方もいます。



インタビュー③

「女川特有の気候、風土に合った樹木はあるの?」

新しいお庭の土は固いですが、土を入れ替え、好みの『木』や『花』を植えましょう。できれば、潮風に強い植物を選ぶと良いでしょう。できる範囲から始めることが、無理なく続けるためには大切です。根鉢より一回り大きな穴を掘り、培養土などを入れましょう。掘る深さは、根の長さに加えて10~20cm程度多くするといいですよ。



阿部造園 阿部忠さん

ステップ3 みんなでつくる

1 用土や花壇の囲いの準備

荒立東地区街区公園
ガーデンイメージ図



みんなで考えたアイデアを実現できるように、用土と花壇の囲いを準備しましょう。

- * 既存の土壤が硬く、盛り土をした例
 - ・ 15 cm～20 cm程度、土を盛ります。
 - ・ 花壇の囲いは丸太や石で縁取ります。
(協力団体から町有林の間伐材をいただきました。)

2 しっかり土づくり



良い土は植物を健康に育てます。移植ごなどでしっかり混ぜましょう。

盛り土用土の黄金比！
 赤玉土：腐葉土（2：1）または
 山砂：パーク堆肥（2：1）



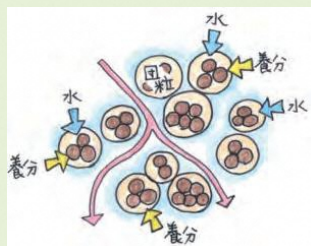
土づくりの基礎知識

● 土は、『植物の住処』、植物を育てるうえで一番大切です。

● 良い土の条件

水はけが良い。通気性が良い。
水持ちが良い。肥料持ちが良い。

良い土の基本条件を兼ね備えた土は「団粒構造の土」と言われています。



▲ 良い土(団粒構造)のイメージ図
水分や養分などの必要なものを吸収し、
不要なもの(余計な水分)を排出

● 耕運する場合の土づくりの手順

- ① 土を掘り返す（約30cm程度）
- ② 有機物(腐葉土・堆肥)の投入(ふかふかの土に)
- ③ 石灰資材の投入(酸性土壌の改良)
- ④ よく混ぜ合わせて、平らにならす

出典：コミュニティガーデン
講座テキスト

3 集まった植物の配置決め

- ・シンボルとなる木などの位置をまず決めます。
- ・大きい植物、多年草を順に配置します。
- ・次にあまり手のかからない植物、一年草の順に配置します。

全部並べて、全体のバランスを確認してから植え付けよう！



4 植物の植え付け

- ・大きめの穴を掘ります。
- ・ビニールポットを取り穴に根鉢を入れます。
- ・土をかぶせ、根元をギュッと抑えます。
- ・土を平らにします。

ポットの土表面が飛び出したり、もぐったりしないように植えよう！



5 たっぶり、しっかり水やり

植えた後はたっぶり、しっかり、植物の根の部分に水をあげましょう。植え付け時に水をたっぶりやれば、しっかり根を伸ばすので、後の水やりが楽になります。



ガーデニングに便利なアイテムが借りられます

みんなのガーデンで便利なアイテムが利用できます。

◆草刈り機

行政区に一つずつ配布されています。地区の区長さんや役員さんなどに相談してみましょう。

◆ガーデニングの備品（スコップ等）

女川町社会福祉協議会のボランティアセンターまでご相談ください。個人や営利の目的でなければ借りることができます。なお備品は震災ボランティア等で活用したもので、少し古くなっています。

◆鹿避けネットとパイプ

役場産業振興課農林係で配布しています。ご相談ください。(数量限定)

お手入れ簡単！きれいなガーデニング 4つのコツ

みんなのガーデンをつくるには、最小限の手間で最大の効果を得る、“ローメンテナンス&ローコスト”を心掛けることと、上手な植物選びがポイントです。

①しっかり土づくり（詳しくは11ページ）

良い土は植物を健康に育てます。

②空間のベースづくり

小道などをつくると、植栽を減らすこともでき、空間にメリハリがつかます。また、作業道にもなり、作業が楽になります。



通路や足場を確保しよう！

③多年草で植栽のベースづくり

多年草を植えると、数年間は植え替えをする必要がなく成長を楽しむことができます。

奥に多年草を、手前に一年草を植えると手入れも楽になりますし、多年草の緑が風景となり、いつもきれいなガーデンを作ることができます。

多年草エリア



一年草エリア

④複数の種類を植える

虫や病気などが発生した時に、一品種だと全滅してしまいますが、複数の種類を植えると全滅することが少なく、きれいな風景を保つことができます。なるべく複数の種類の植物を植えましょう。



ステップ4 みんなでつくった場を楽しむ

みんなのガーデンができた後の基本的な集まりは植物のお手入れです。ハーブや果樹といった収穫を楽しめる植物を植えておくなど、工夫次第でお手入れも楽しみにしていくことができます。



お手入れのコツ “4つのポイント”

お手入れの時間は限られています
優先度の高いことから行いましょう

↑
高
優先度
低

①茶色いものを取り除く

落ち葉や花ガラや枯れた株などを取り除きましょう。茶色いものを取ると、見た目がきれいになります。



②エッジ（境）を際立たせる

植物を植えた部分と植えていない部分の境を明確にしましょう。

咲き終わった花は、茎の根元から切る！

③大きくなった雑草を取る

除草を優先すると生育状況に合う管理ができません。植えた植物より大きくなった雑草や新たに種がこぼれそうな雑草を選んで、優先して取り除きましょう。



④季節ごとの切り戻し

植物を整えるため、思い切って切り戻しをします。摘み取った脇から新芽が伸び、茎・花数も増加します。全体の草丈の 1/2 か 1/3 まで葉のすぐ上で切ります。



お手入れ = お楽しみ

植物のお手入れでカットしたハーブは、食事や手作りの小物づくりに利用できます。また、果樹も果実の収穫をイベントとして楽しめますよ。

活動継続のコツは
“お手入れ = お楽しみ”



ラベンダーの花穂を乾燥させ、バンドルズやポプリもできます



市民団体が都市公園の一部を管理し、収穫した果実などを市民に即売会形式で還元しています

(写真出典：鶴牧西公園を育てる会)

ちょっとがんばればできること②

プランターを使った寄せ植え

ひとつの環境に様々な植物を一緒に植える寄せ植えは、ガーデンづくりと同じ考え方でつくることができますよ。

大切なのは、『主役を決める』、『仕上がりをイメージする』
『植物の性格を知る』ことです。

《植物の性格で気にすること》

- * たてに伸びる?横にはう?
- * 開花期いつ花が咲いて、いつ終わる?
- * 太陽が好き?日影が好き?水が好き?
- * どれくらい大きくなる?

主役は好きな
植物にしよう♪



花と緑の活動紹介①

あ～らだての小みちの会

荒立東地区では、地区のみなさんで出し合ったイメージをもとに、みなさんで花苗や資材を持ち寄り、ほとんどお金をかけずに手作りの花壇をつくりました!



シダレザクラを植えたり、植物のネームプレートも工夫をこらしてついたり、みなさんでアイデアを出し合いながら公園の花壇を育てています。

手作りの花壇ができてからは、近くの人が散歩中に休憩したり、通りがかった人達がベンチに座って話している姿が良く見られるようになってい



活動持続のヒント



植物や資材を集めることに困ったら・・・

どのような場をつくりたいか話し合い、そのために集める植物や資材を検討したら、それらをそろえるコストなどが心配ですね。

予算を決めて植物などを購入することは大切ですが、『持寄り・おすそ分け』ができるかどうか検討すると、予算を抑えて植物や資材を集めることもできます。以下のような植物や資材の持寄りが考えられます。



〈例〉 繁茂する植物の枝（ハーブや樹木）、球根や種、石ころ、枕木等の木材（女川ネイチャーガイド協会に相談）



みんなのガーデンでの楽しみ方

みんなのガーデンで、テーブルやイスを持ち寄ってお茶を飲むことや手入れして刈り取った植物を利用した料理や手づくり品の製作、花見などみなさんに合った様々な楽しみを見つけてください。



〈ハーブ料理の紹介〉



●ハーブコンソメスープ

- ①鍋にオリーブオイル、ローズマリーを入れる
- ②角切り野菜を入れ、炒める
- ③お湯を入れ、コンソメ、塩コショウで味付けして煮る

●ハーブチーズ

刻みハーブにクリームチーズを合える

●バジルごはん

刻みバジルにオリーブオイル、塩を混ぜる



花と緑の活動紹介②

ハーブガーデン・ファミリア

ハーブや女川らしい資源を使ったガーデン“ファミリア”がホテルエルファロにあります。流木の置き物やホタテの貝殻を使ったネームプレート、木材での手作り看板など、参加者のアイデアいっぱいのガーデンができました。

◆チーム・ファミリアより

(エルファロ女将・佐々木里子さん)

「まちの真ん中にあるエルファロだから、**地域のみなさんに開かれた場所**を目指し、みんなで考え、育て、楽しめるハーブガーデンをつくっていききたいと思います！誰でも関わっていただき、**家族的なお付き合いの場所になれたらと願い、『ファミリア**（スペイン語で「家族」）というガーデン名にしました。つい歩きたくなる、おもてなしの場にしていきたいと思います。」



チーム・ファミリア

手づくり品の製作と販売

花壇等の手入れや管理にはお金もかかります。製作した手づくりの品や種、野菜などをイベントに出店して販売するなどしている団体もあります。『活動を運営するための費用』にあてることができたり、より多くの人に活動を知ってもらうきっかけになります。



まちなかのお庭紹介①

植物の性格を活かしたお庭

荒立西地区に様々な植物の性格を考えて植え分けしているお庭があります。玄関の階段わきの小さなスペースに、半分日陰でも育つ植物や小さな植物をバランスよく植え、上手に使っています。



ヘチマやキュウリなどのつる性の野菜は、夏場に緑のカーテンとして利用することもできます。





無理のない活動として続けるために

みんなのガーデンでは、無理のない範囲で楽しみましょう。困ったときには、町内で活動を実践する先輩たちにアドバイスをもらいましょう。まちには経験豊富な親切で頼りになる方がたくさんいます。22,23ページの「まちの先生・協力団体」を参考にしてください。

また、「中心部の緑地マップ」にある活動拠点に気軽に見学に行ってみましょう。



その他～資金を集める方法

町役場の助成制度とは別に、民間団体等の行う支援の活動や個人から取り組むことができる資金集めの方法があります。

- ◆民間団体による苗木の提供
復興支援の一環で、様々な団体が桜やツツジ、ハナカイドウを提供してくれています。地区への寄贈ができる場合もあるので町役場までご相談ください。
- ◆クラウドファンディング
- ◆募金箱の設置



花と緑の活動紹介③

大原北区 園芸部

大原北区では、区の役員や班長を中心にみんなで話し合い、共同花壇での花植え活動など様々な催しを区で運営しています。

- ◆鈴木浩区長より
「日頃から一人ひとり声掛けして顔のわかる関係をつくっているため、頼みごとなどにみんな協力してくれます。それぞれ得意分野で力を発揮しています。また、助成金などを利用して、区に必要な資材（倉庫や草刈り機、吹き出し道具など）を調達していますよ。」



**花と緑の活動紹介④****女川桜守りの会**

町の花である桜を復活させようと活動している桜守りの会では、桜の植樹活動を町内の様々な場所で行っています。植樹においては、公益財団法人日本花の会からの協力も得るとともに、奥清水の桜公園で苗木を育てています。

また、津波に流されなかった桜の木からはお地蔵さまを彫りだしてもらい、レンガみち脇に安置しています。

◆事務局長 藤中郁生さんより

「今後は桜の手入れなどを行う仲間を増やしていきたいと考えています。ご参加お待ちしております！」

**花と緑の活動紹介⑤****出島 “ゴへ!!島活～椿油の採取～**

離島出島では、出島・寺間両集落の女性が中心となり、島の豊かな自然を守り、島の魅力を活かしていくことを目的に、“ゴへ!!島活”を立ち上げ、島づくりの活動を進めています。

町内外の活動団体や島の出身者などのサポートを得て、島に自生する椿の油を使った特産品づくり（地域資源の活用）やコミュニティづくりを図っています。

ぜひ出島の魅力を感じに訪れてください。

注) ゴへは、船用語 Go Ahead (前進) の意味

**花と緑の活動紹介⑥****レンガみち周辺エリアにおける景観づくり活動**

自然と調和した美しい「まちなか景観」を実現し、まち歩きを楽しめる商店街を目指すため、民間事業者が『女川駅前商業エリア景観推進協定運営委員会』を組織し、景観に配慮した建物や緑化活動に携わる団体等を表彰しています。また、定期的な美化活動も行われています。



レンガみち周辺エリア



まちなか緑化部門受賞
(桜咲く地蔵の会)

民間事業者の景観づくりに対する努力や委員会活動の効果が相まって、平成 30 年度にはレンガみち周辺エリアが都市景観大賞の最高賞である国土交通大臣賞を始め、アジア都市景観賞、グッドデザイン賞などを受賞しました。

中心部の緑地マップ

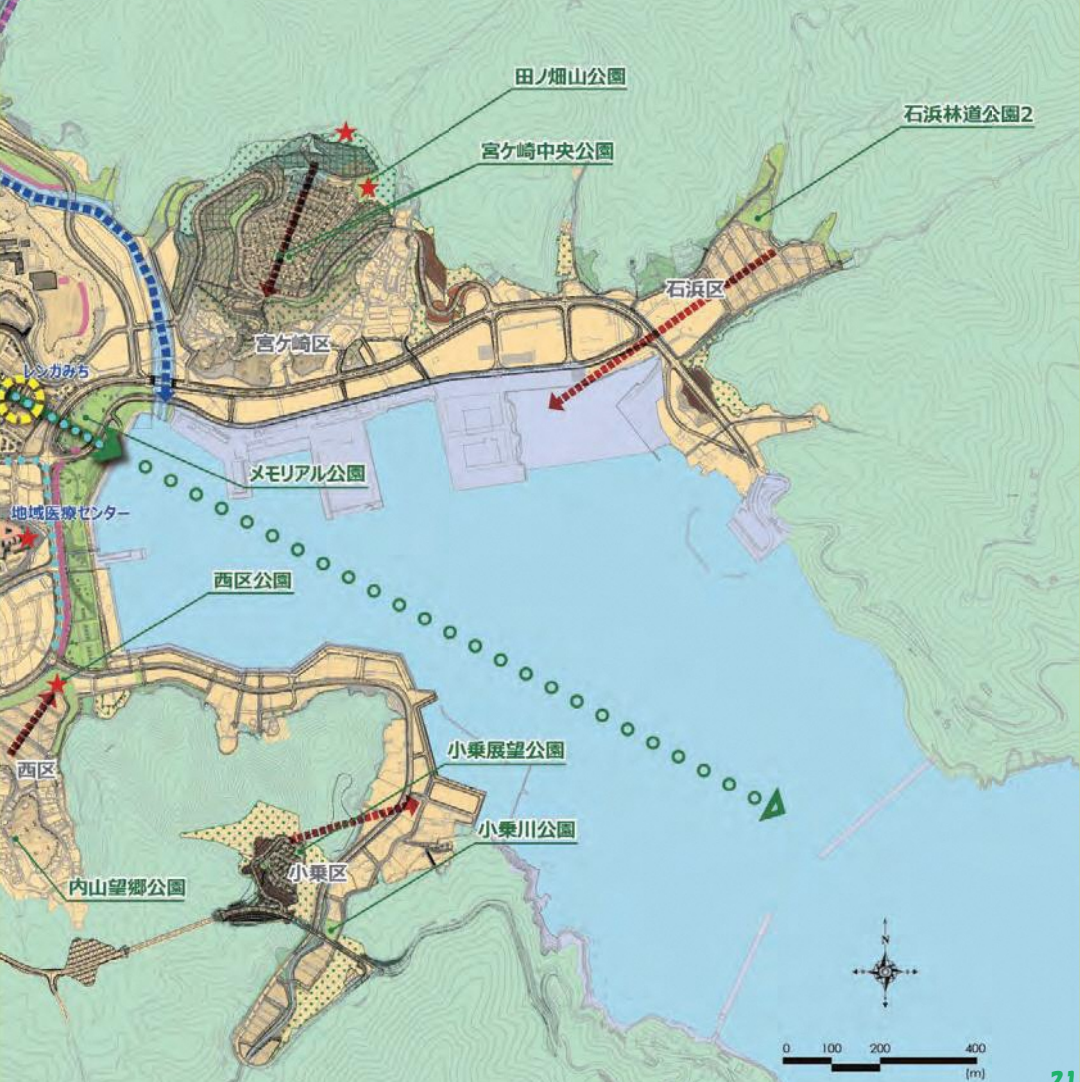
- ・このマップは、復興まちづくりデザイン会議による「緑の基本計画図（H28）」を元で作成したイメージです。
- ・「桜の植樹範囲」は、女川桜守りの会による『10万本の桜計画』を示しています。
- ・住民みなさんによる、住宅のお庭などの緑化や住宅周辺の公園・桜のお手入れを歓迎しています。

離半島部では、各浜の皆さんの意見を踏まえて、小さな共同花壇をつくって花を植えるなど、地区の特色を活かした取組みが行われています。



凡 例			
	景観シンボル軸		公園等
	シンボリックな緑化軸		新しくつくりだす緑地
	河川景観軸		保全する緑地
	眺望点		緑化をすすめる宅地
	眺望軸		漁港エリア
	景観重要法面・擁壁（盛土）		桜の植樹範囲（予定含む）
	景観重要法面・擁壁（切土）		このガイドブックで取り上げた 緑の活動・交流拠点
	その他の法面・擁壁		
	山林等		

※今後整備される公園名は全て仮称となります



まちの先生・協力団体

みなさんの活動に合わせて、花壇のデザインや植物の選び方、花と緑の活動を楽しむアイテムづくりなど、アドバイスしてもらえます。

住民団体

あ〜らだての小みちの会



得意な分野

地域共同の花壇づくり、ハーブ料理、小物づくりとその出店、植物のおすそ分け

facebook “あ〜らだての小みちの会”

メッセージ

上三区で活動しています。地区の公園での活動など、気になることがあればアドバイスやお手伝いできます！

花卉同好会



得意な分野

盆栽づくり、様々な植物の植え方・育て方、展示会の企画・運営、植物のおすそ分け

☎ 0225-54-3757(平塚文通)

メッセージ

会員それぞれが植物や盆栽づくりを楽しんでおり、定期的に展示会や視察を行っています。会員募集中ですのでお声がけください！

女川桜守りの会



得意な分野

桜の苗木提供、植え替え、剪定、病虫害対策、樹木医の紹介など

☎ 0225-53-3411(藤中郁生)

メッセージ

桜のことは何でも聞いてください！桜の植樹活動や手入れする仲間を募集中です。

女川林業振興会



得意な分野

山林の育成・剪定、草刈・植樹のボランティア、樹木の育て方のアドバイス

☎ 0225-53-3671(遠藤進)

メッセージ

山を愛護する活動や門松づくりのボランティアをしています。いつでもご相談ください。

女川ネイチャーガイド協会



得意な分野

貴重な山野草が生息する山々の保全・管理、山歩きの見学ガイド、「学びの森」整備、町有林の利活用(木材加工・スウェーデンソーなど)

☎ 0225-53-3411(藤中郁生)

メッセージ

女川の海もいいですが、山にも様々な魅力がありますよ。山歩きや木材加工などご相談ください。

女川町社会福祉協議会



得意な分野

ボランティア活動のコーディネート、ボランティア(地域・団体・個人)の活動支援・機材貸し出し等

☎ 0225-53-4333

メッセージ

活動していて困ったことや、「活動を始めたい！」等、ボランティアにまつわる様々な相談に応じます。気軽にご相談ください！

公共団体・非営利団体

非営利団体・
公共団体**すばらしいおながわを創る協議会（花いっぱい運動）****得意な分野**

花や緑の相談・植物選び、プランターを使った寄せ植え

☎ 0225-54-3131(生涯学習課)

メッセージ

毎年一回、ピオラ苗などプランターに植えて、各地区に配布しています。

生花店

**フラワーショップ さとう****得意な分野**

花や緑の相談・植物選び、植物・用土、フラワーアレンジメント

☎ 0225-53-4886

メッセージ

切花中心に販売していて、祝花や佛花などをアレンジ・販売しています。お立ち寄りください。

**ふらわ〜しょっぷ 花友****得意な分野**

切花・鉢・苗木・ガーデン雑貨、ガーテニング、ハーブ、お花を通じた地域とのコミュニケーション・体験教室

☎ 0225-54-3436

メッセージ

お花を通じての出会い、関わりを大切に。お花のある生活を一緒にたのしみましょう。気軽に相談ください。

**阿部造園****得意な分野**

庭の植栽・用土の相談、樹木の植え方・育て方のアドバイス

☎ 0225-53-3576

メッセージ

土づくりや樹木選びの相談にのります！無理なく自分の好きな花・緑を選びましょう。

**鈴木造園****得意な分野**

庭の植栽・用土の相談、樹木の植え方・育て方のアドバイス

☎ 0225-53-4835

メッセージ

不要な枝の切り方などアドバイスできます！気軽に連絡ください。

**サイトウ緑化建設株式会社****得意な分野**

庭の植栽・用土の相談、樹木の植え方・育て方のアドバイス、盆栽・山野草

☎ 0225-53-2918

メッセージ

庭づくりや樹木選びの相談にのります！気軽に連絡ください。

**緑泉園****得意な分野**

庭の植栽・用土の相談、樹木の植え方・育て方のアドバイス

☎ 0225-85-9178

メッセージ

眺める庭から過ごせる庭づくりまでご相談にのります！気軽に連絡ください。

造園業等

助成制度の紹介



緑のまちづくり助成制度

町役場では、緑化整備による景観に優れたまちづくりを推進するため、庭先へのシンボルツリーの植樹や芝の植え付けなど、対象となる緑化整備を行った場合に助成金を交付しています。(実施期間：2020年度末まで)

- 戸建ての災害公営住宅や既存の住宅も助成の対象となります。
(助成できる上限額が異なります)
- 一年草などの一時的な植栽は助成対象となりません。

事前相談は復興推進課復興調整係
申請窓口は町民生活課生活支援係となります



◆製作協力

株式会社 千代田コンサルタント

◆監修

女川町復興まちづくりデザイン会議

有限会社 アトリエU 都市・地域空間計画室


特定非営利活動法人 Green Works

女川町復興コーディネーターJV

(株式会社建設技術研究所・中央復建コンサルタンツ株式会社共同企業体)

◆表紙・イラスト協力 ふらわ~しよっぷ 花友



発行：  女川町 復興推進課
2019年3月